

防災人材交流
シンポジウム

つなぎ舎

SUNAGIYA



つなぎ舎の詳細は
こちら

参加費
無料

会場聴講
定員 / 200名
[先着順・事前申込不要]

『東北から愛知へ、愛知から未来へ』

日時

2022年 11月13日 日

10:00 ~ 17:00

あいち健康の森公園

あいち健康プラザ プラザホール

バス：JR大府駅(西口)より知多バス あいち健康の森公園下車
自動車：大府東海IC(知多半島道路)から東へ10分



第1部

10:00 ~ 11:30

上映時間 80分
ショート版

映画上映会

●「たゆたえども沈まず」



東日本大震災から10年
1850時間の映像から紡ぐ記録映画
令和3年度
文化庁芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門 大賞
企画・製作：テレビ岩手

第3部

15:10 ~ 17:00

- グループワーク
- パネルディスカッション



東北から愛知へ



愛知から未来へ



写真提供：中日新聞社

第2部

13:00 ~ 14:55

● 3.11 の体験と教訓を未来へ ~私たちはこうして伝え継ぐ~



岩手県



津波甚句
釜石あの日あの時甚句つたえ隊

宮城県



オンライン語り部
一般社団法人 健太いのちの教室

福島県



3.11メモリアル演劇公演 声と手話による朗読劇
生きている 生きてゆく
~ビッグパレット避難所記より~

※第2部及び第3部パネルディスカッションには手話通訳が付きまます。
※オンライン配信(zoom ミーティング：事前申込制)も行います。



主催：防災人材交流シンポジウム実行委員会※

※名古屋大学、愛知県、名古屋市、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、あいち防災リーダー会、特定非営利活動法人あいち防災リーダー育成支援ネットワークや防災ボラネット、特定非営利活動法人耐震化アドバイザー協議会、あいち・なごや強靱化共創センター

共催：公益社団法人 3.11メモリアルネットワーク、一般社団法人日本損害保険協会中部支部、中日新聞社

お問合せ先 防災人材交流シンポジウム事務局 (あいち・なごや強靱化共創センター内) TEL: 052-747-6979 (平日 10-12時、13-16時)

新型コロナウイルス感染防止策のお願い

●体調不良の場合はご来場をお控えください●入場時の検温にご協力ください●体温が37.5℃以上の場合、入場をお断りさせていただきます●マスクを着用してください

オンライン配信
事前申込はこちら



お申込締切
10月21日(金)

あいち健康の森公園で同日開催！「あいち防災フェスタ」(主催：愛知県 他)

つなぎ舎

SUNAGIYA

「東北から愛知へ、愛知から未来へ」

南海トラフ地震等の大規模災害に立ち向かうためには、地域のあらゆる主体がお互いに顔の見える関係を構築し、地域、世代、組織を超えて一体となって対応することが必要です。東日本大震災の経験をつなぎ、南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、東北と東海地方の防災活動に取り組むNP0・ボランティア団体、大学生等が一堂に会し防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎(や)」を開催します。

休憩：～ 13:00

*同公園内 あいち防災フェスタにもお立ち寄りください
(福島県名古屋事務所出展)

あいち防災フェスタ
の詳細はこちら



13:00 ～ 14:55

第2部

開会の挨拶

3.11の体験と教訓を未来へ
～私たちはこうして伝え継ぐ～

13:10 ～ 13:20
東北の震災伝承活動の現状

13:20 ～ 13:45
津波甚句 釜石あの日あの時甚句つたえ隊

岩手県

唄い手の藤原マチ子さんと、口上・合いの手担当の北村弘子さんの2人組。震災の体験による教訓や遺族の悲しみ、失われた大切なものを未来に向けて唄い続けている「相撲甚句」を、会場で映像と共に披露していただきます。

13:45 ～ 14:20 一般社団法人
オンライン語り部 健太いのちの教室

宮城県

東日本大震災の津波により、宮城県女川町の企業管理下で息子の健太さんを亡くされた田村孝行さん・弘美さんご夫婦は、一般社団法人健太いのちの教室を設立し、震災伝承、安全な社会づくりを目指した安全啓発活動に取り組んでいます。会場と女川町をオンラインでつなぎ、今・次世代を生きる皆様に、健太さんの命からの学びを伝えていただきます。

14:20 ～ 14:55
3.11 メモリアル演劇公演 声と手話による朗読劇
生きている生きてゆく ～ビッグバレット避難所記より～

福島県

福島第一原発の事故により着の身着のまま避難を余儀なくされた福島県富岡町の人たちが、あのとときどんな思いで避難し、その後に悩み、暮らしを立て直していったのか。富岡町にゆかりのある人たちが出演する「朗読劇」をご観いただけます。

Program

第1部 10:00 ～ 11:30

映画上映会「たゆたえども沈まず」
東日本大震災から10年
1850時間の映像から紡ぐ記録映画

>> 令和3年度
文化庁芸術祭テレビ・ドキュメンタリー部門 大賞
企画・製作：テレビ岩手

2011年3月11日。この日、震度7の地震と津波が東北地方を襲いました。未曾有の大災害をもたらした東日本大震災—その直後から、私たちは被害の状況や被災者の安否をテレビ放送を通じて伝え続けました。

あれから10年。がれきの山はなくなり、防潮堤が整備され、低い土地はかさ上げされて、そこに新たな街ができました。しかし、復興は終わったわけではありません。あの日から生活が一変した人々は、今なお、もがき、揺れ動き、大きなうねりの中に身をゆだねながらも懸命に生きています。

テレビ岩手が10年にわたり取材し、伝え続けてきた東日本大震災をこれからも後世につないでいくため、私たちは「映画」として想いを残すことにしました。この映画はドラマではありません。様々な考えを批判するものでもありません。そこで暮らす人々の10年間の生きざまを切り取った真実の記録です。どうか目を閉ることなく現実をみてください。そこに生きる人々の想いを知ってください。被災地の放送局として、カメラを向けた責任を持つものとして、1850時間に及び膨大な映像と人々の想いをどう生かしていくのか—。

そんな想いを込めて、東日本大震災の映画を製作しました。この映画には、震災から10年を経た被災地と、そこに住む人々、それぞれの10年の真実が刻み込まれています。

休憩：14:55 ～ 15:10



第3部 15:10 ～ 17:00

グループワーク

東北からの学びを受けて、何を感じ・何をすべきか、それを私たちの活動にどのようにつなげていくかを話し合います。

パネルディスカッション



東北からの学びを若者はどのように受けとめたのか。どのように行動に繋げていくかをディスカッションします。

発表



閉会の挨拶